

あとがき

2016年3月号をお届けします。今月号から第69回日本臨床眼科学会で発表された報告の原著論文が掲載されます。興味深い症例の報告や臨床研究がみられます。最新の治療法を施行された眼に対する新たな知見がみられ、さらに色々と考察を深める必要性を感じさせます。例えば、佐藤栄寿氏らの老視治療用角膜インレー挿入眼の硝子体手術の報告では、角膜インレーが挿入された眼での眼底観察やレーザー治療の際に問題となりうる点などが考察されています。また、渡邊浩一郎氏らの蝶形骨洞部悪性腫瘍に対する重粒子線治療後に発症した放射線網膜症の報告にも注目する必要があります。眼窩悪性腫瘍に対する重粒子線治療は今後増加することが予想されますが、照射したらそれでよしということには必ずしもならず、腫瘍組織のみならず眼球にも注意深い経過観察が必要で、うっかりすると網膜虚血から血管新生緑内障を発症しかねません。田岡梨奈氏らの報告では、眼内鉄片異物へのMRI検査を行おうとしたら患者さんが痛がったため撮影を中止できたからよかったものの、そのまま施行していたらどうなっていたのでしょうか。

「今月の話題」は井上俊洋氏による、これから日本にも登場することが期待される新しい眼圧下降薬と薬物送達法および超音波による線維柱帯形成術などが大変わかりやすく紹介されています。「緑内障道場」では内藤知子氏から呈示された症例に対して、大鳥安正氏と木内良明氏による非常に詳細なHumphrey視野とOCT所見の診かたと考え方が紹介されています。緑内障は慢性疾患で患者数も多く、忙しい外来ではとかく見逃されやすい視野検査やOCT所見もこのような視点で考えながら診なければならないのかと今更ながら大変勉強になりました。柿崎裕彦氏の「目指せ！眼の形成外科エキスパート」はお見事という他ありません。眼形成外科の考え方によってより優れた手術方法が広く普及することを祈らずにはられません。（中澤 満）

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅義三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭					
編集委員	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	下村嘉一	稲谷 大	

臨床眼科（第70巻 第3号）

2016年3月15日発行（毎月1回15日発行）

定価：本体 2,800 円＋税

（2016 年年間購読料（増刊号を含む 13 冊，送料弊社負担））
冊子版 40,140 円＋税
冊子＋電子版/個人 45,140 円＋税
冊子＋電子版/共有 51,200 円＋税
電子版/個人 40,140 円＋税 電子版/共有 46,200 円＋税

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969，FAX 03-3513-6979，info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 松井・山本・安部